

ぽーれぽーれ(Pole pole)  
スワヒリ語で  
「ゆっくり…」  
という意味です

# ぽれぽれレター

第49号  
2022.01.04

## 理念

「人よりそう ひらかれた病院」

## 病院基本方針

※安心・安全ながん医療を提供します  
※医療提携を進め、地域医療に貢献します  
※豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます

## 診療案内

内科, 外科, 脳神経外科, 整形外科  
耳鼻咽喉科, 婦人科, 泌尿器科  
放射線科, 消化器科, 緩和ケア科  
乳腺外科, 腫瘍外科, 腫瘍内科  
歯科, 口腔外科

【診療受付時間】

平日 午前8:30~午後4:00

土曜 午前8:30~正午

【診療時間】

平日 午前9:00~午後4:00

土曜 午前9:00~正午

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始

【お見舞い時間】

ホームページをご確認ください



## 2022年ご挨拶

令和4年1月、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

さて、令和3年もまた、コロナに振り回された1年でした。

研究会、講演会、学会の多くはオンラインで行われました。学会で講演しても、どのくらいの人が聞いているのかわからず、反応もわかりません。早く終わってほしいものです。昨年10月27日の日刊ゲンダイに私の記事が出ましたが、これもオンライン・インタビューでした。温熱療法による末期がんの延命、再発予防に有効であることなどを書いてあって、よく出来た記事でした。ヤフーニュースにもしばらく出ていましたので、一時期、患者さんが増えました。温熱療法（電磁波ハイパーサーミア）はまだまだ周知されていないので、宣伝が必要であることを実感した次第です。民間のがん専門病院として、これからも精一杯がん患者さんのサポートをしていきたいと思っておりますので、今年もよろしく願いいたします。

（病院長 中村仁信）



2022年（令和4年）、

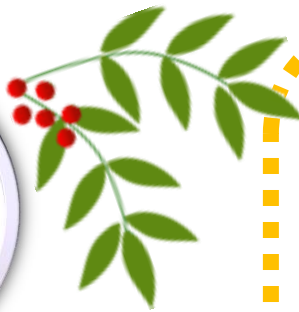
新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染の拡大もどうやらおさまりそうになり、これはワクチン接種率の進捗によるものなのでしょうか。

デルタ株の感染拡大が収まってきたと思ったら、今度はオミクロン株という変異株が世界に広がろうとしています。更にはこのオミクロン株の感染拡大が収束しても、更に新たな変異株が出現するのではないのでしょうか。いつまでたってもwith コロナの世界なのでしょう。

さて、新型コロナウイルスの感染については、当院の患者さんや職員には感染者はおらず、本来のがんに対する化学療法、放射線治療、緩和ケアに専念することができています。更に病病連携、病診連携を利用して、放射線治療では小線源を用いた組織内照射や腔内照射なども可能となり、治療手段の多角化が拡がり、治療率の向上に寄与するように職員一丸となって努力する所存です。本年もご指導の程、宜しく願い申し上げます。

（顧問 宮田倅明）



令和4年（2022年）、  
明けましておめでとうございます。

昨年も一昨年も、コロナ・コロナの  
1年でした。秋口になって、日本国内で  
はどういうわけかコロナが治まってしま  
いましたが、オミクロン、油断なりません。  
新年を迎えるにあたり、まず、コロナ  
の収束を祈念いたします。コロナが季節  
性インフルエンザ並みになって、あちこ  
ち自由に行き来できる日々が戻ってきま  
すように。穏やかな日々が戻ってきま  
すように。

（副院長 後明郁男）



新年明けましておめでとうございます。  
昨年は新型コロナウイルス感染症による未曾有  
の災禍の中にもかかわらず、ひとかたならぬ御  
厚情とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当院では、がんの早期発見をめざす検診・人間  
ドックから根治的ながん治療、そして、緩和ケ  
アまで、がんのさまざまな病期に対応し、診療  
しております。  
本年も例年と変わらず、患者様ひとりひとりに  
よりそい、安心して安全な医療をご提供すべく、  
日々、研鑽を積んで参る所存です。  
引き続きあたたかいご支援、ご指導のほど、  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

（医局長 高橋正嗣）

明けましておめでとうございます。  
旧年中、当院に賜りました数々のご厚情と  
ご支援に対しまして、職員一同心より御礼申  
上げます。

当院はがん専門病院としてがんの再発や転  
移で苦しむ患者さまに放射線治療と化学療法  
そして緩和ケアの提供を中心に診療しており  
ます。

本年度も近隣の諸病院と連携し質の高い医  
療を提供できるように職員一丸となって努力  
していく所存です。

今年も皆様にとって実り多い一年になるこ  
とを願っております。

（副院長 杉浦孝司）



新年のお慶びを申し上げます。  
旧年中は当院に賜りました数々のご厚情と  
ご支援に、職員一同心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症という、社会全  
体がまだ重苦しい雰囲気にも包まれており、い  
つ収束を迎えるのか、見えにくい状況ではあり  
ますが、私たちは医療・ケアの様々な専門  
職の集まりです。各スタッフが高いスキルを  
持ち、チーム一丸となって、皆さまに安心、  
安全な医療・ケアを提供できるよう取り組ん  
でまいります。

コロナ収束を願いつつ、新年のご挨拶を謹ん  
で申し上げます。

（看護部長 内田宣江）



編集後記：SDGs、温暖化そしてCOVID-19など、地球全体で取り組むべき難問で  
はありますが、私たちが些細なことであっても地球のために貢献したいですね。  
2022年が地球人にとって良い年でありますように。（福西）

発行者： 中村に信（病院長） 〒567-0085 茨木市彩都あさき7丁目2番18号  
編集長： 福西康修（放射） TEL072（641）6898 Fax072（641）6097  
編集委員： 村井祐子（医師） 岩切昭夫（看護） 松澤圭介（看護）  
常島啓司（情報） 大塚はるか（医事課） 東阪真希（放射）

このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい

<http://www.saito-yukokai-hp.jp/index.htm>

「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！

医療法人友誼会 彩都友誼会病院